



### 近世後半建築のI家

主屋には、イラカ・ヤマトの避難施設を設ける。主屋の西側には、寝床（納屋）と土蔵が並ぶ。敷地中央に高く目立つのは、釜屋（炊事に使用する建物）である。



### 昭和6年(1931)年建築のY家

主屋の間取りは、蚕の飼育に用いる「エビラ」に合わせている。主屋の西側に寝床（納屋）、西北に土蔵が並ぶ。

### 舞中島地区の建物

建物は、石垣でかさ上げした敷地内に建てられた。基礎も、石を積み上げ、通常の農家建築よりも高くしたものが多い。さらに、敷地の外周には、生垣や水防林をめぐらせ、敷地の上まで増水した場合でも、倒木などの流入による被害を最小限に抑える工夫がこらされている。

⚠ 建物は個人が所有しています。無断での立ち入りはご遠慮ください



#### 南岸用水

地上より高い位置にコンクリート製の水路を設置し、導水している。高低差の少ない土地に水を引くため、工夫を凝らした用水路である。



#### 水防竹林

舞中島を特徴づけるものの一つ。洪水の際、竹林は、水の勢いを押さえ、倒木や巨石が地区内に侵入するのを防いだ。

### 生活のための様々な工夫（水を引く、洪水を防ぐ）

洪水や地形など、さまざまな悪条件を知恵と工夫で解決し、人々は暮らし続けてきた。今もその知恵が、あちらこちらで生かされている。

# 舞中島地区の文化的景観

— 洪水と共に生きる —



稲穂と高石垣の屋敷

美馬市の文化遺産を活かした  
地域活性化実行委員会

# 舞中島地区のあらまし

舞中島地区は、吉野川と明蓮川に挟まれた、東西約2.5km、南北約1kmの「川中島」に位置する。

川に挟まれた低く平らな地形という、洪水と隣り合わせの自然条件にあるこの地区で、人々は、工夫をこらして生活を続けてきた。その結果、独特の景観が形成されている。



**光泉寺**  
高石垣のうえに本堂が建つ。境内には、昭和29年（1954年）六月台風の際の冠水水位標柱がある。



**脇町潜水橋**  
もと「舞中島渡し」のあった場所付近に架橋されている。



## 凡例

- 伝統的な家屋
- 伝統的な要素を持つ家屋
- 伊予街道(破線は不明確な部分)
- 水防竹林
- 吉野川堤防(1974年完成)



**大柳神社**  
神社のすぐ北側に吉野川堤防がある。境内に、防災工事記念碑（1960年）吉野川築堤記念碑（1974年）がある。



**伊射奈美神社**  
標高44mの通称「山の上」に建立されている。洪水時には、東舞集落の避難場所となった。



**小字「渦」**  
舞中島地区の北東側は、「水が渦巻く」を意味する小字名のとおり、浸水が激しいところだった。現在でも、内水氾濫により、浸水することがある。写真は平成26年の増水時のもの。